

2023年(R5年)



No. 375

Waku Waku Journal

(題字: 三井 裕森)



社会福祉法人 ひとほ福祉会

〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地

TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

(ホムアド) http://hitoha-fukushi.com (メルアド) honbu@hitoha-fukushi.com

ちょうど昨年さくねんのこの時期じき、運営理念いんえいりねんについて文尚ぶんしょうさんと語り合かたあい時間じかんがありました。

文尚ぶんしょうさんが

「わしは、ここをこうしたらと思おもうんじゃないか?」

「それは... 良よいというか、その通とおりなんじゃけど...」

言葉ことばに詰つままってしまった私わたしを見て文尚ぶんしょうさんはいたずらいたずらっぽくにやりと微笑ほほえんでいました。

「障しょうがいのある仲間なかまたちを生きづらさを抱かかえるすべての当事者とうじしやの人たち」にいつか変かえて

みちまみちまどうかのお〜」と言いったんです。まさに生き様いきざまそのものでした。

今いま、運営理念いんえいりねんを覚え始おぼめる職員しやくいんがどんどん出てきました。丁寧ていねいに覚えています。当初とうしょは

覚おぼえるだけでは意味いみがないとの声こゑも聞きられました。が、実践じっせんを積み重ねかさねる際さいも、内省ないせいする

にも、話し合はないをするうえでも理念りねんがベースベースに無なければ目の前めの課題かだいや役職やくしやくのしからみに

振り回ふりまわされてしまいます。制度せいどに従したがうだけでも話はなしにたどりません。

何なによりひとほが新あたらしい道みちを切り開ひらくにも、これまでの道みちのりを振り返ふりかえるにも理念りねんという

地図ちずとコンパスコンパスが必要ひつやうです。理想りそうと現実げんじつのギャップギャップに悩なやむことも出てきます。

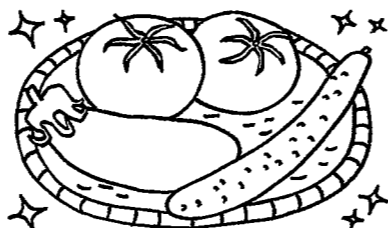
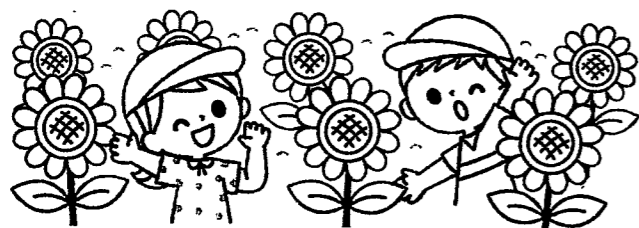
あんたの「ため」と周まわりが本人ほんにんに代かわって物事ものごとを決きめてしまうことをパターナリズムと

いうそうです。ひとほの理念りねんには「ために」という言葉ことばは一切いっさい使つかわれていません。代かわ

りに「共に」という言葉ことばが使つかわれています。共にとも学び合まない、考かんえ、つくり、受うけ止め発信はつしん

することことに価値かちがあるのかおそと思おもいます。

(事務局 寺尾真)



「大成功! おやつ作り」

水曜日すいようびは おやつ作りおやつづくり。今日けふはホットケーキミックスホットケーキミックスと豆腐とうふを混まぜて袋ふくろから絞しぼり出し、油あぶらで揚あげるドーナツドーナツです。

5年生ごねんせいの悠人君ゆうじんは粘ねばり強つよく生地きじ作り。袋ふくろに糊ねりす場面ばめんでは、悠人君ゆうじんの手袋てぶくろについた生地きじを、6年生ろくねんせいの愛来さんあいらいがへらで取とるサポートサポートが大活躍たいかつやく。

好このみの形かたち・太ふとさに揚あげていき、ワクワク感かん絶頂ぜつてい!! アツアツキツネ色いそのドーナツドーナツを袋ふくろの

中なかのグラニュー糖グラニュー糖とシヤカシヤカシヤカシヤカ。勿論もちろんダンス付きダンスつきで...。チョコクリームチョコクリームを添そえてパクリの悠人君ゆうじん。

口元くちもとにもチョコたっぷり!! 側そばにはにこりの愛来さんあいらい。私わたしもおやつ作りおやつづくりを楽たのしむ

姿すがたにほこりをいただきました。(くらまほん 佐々木 香代子)

「ひとほへ来る理由」

ひとほには時折ときおり土曜日どようびに仕事しごとをする土曜開所日どようかいしよびという日ひがあります。土曜日どようびまで

やる気きがもたないのはきららもスタッフスタッフも同じおなじで、カレンダーカレンダーを見みながら「次つぎの土曜日どようびは仕事しごとかあ」と

ボヤクことたもタラせんじゆあります。つい先日せんじゆ、橋本隆文はしもとたかみさんの連絡れんらくノートノートに、母親ははおやが本人ほんにんへ

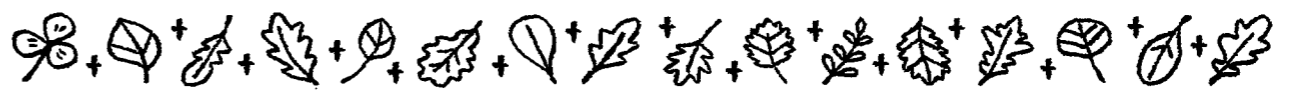
「開所日かいしよびどうする?」と聞きいたところ「久家君くがくんと安徳さんあんとく(スタッフ)もくる。言いってたから行く」と

返答へんとうしたことが書かいてありました。「仕事しごとだから」「暇ひまだから」と様々さまざな理由りゆがある中で

「スタッフスタッフが来るから」と言いってくれたことに感かん動どうしました。これからこれからも一いっしょ緒しょに頑がん張ぱうりたい

と思おもってもらえるよう接せしていきたく思おもった一場面いちばめんです。

(ひとほ作業所 久家 徹也)



自治会きららへインタビュー

〇ひとは作業所 西原広途さん

竹内(以下、竹): 仕事は何をしていますか?

西原(以下、西): つうしん配達です。他にはドライブが好き。

竹: 誰と行くんですか?

西: 越智さんとドライブです。楽しみだね。

竹: セタの短冊に「おちさんと まらそん(は)しれますように」と書いてあったんだけど...

西: 越智さんとマラソン走ったんです。マラソン走るの好きなんです。

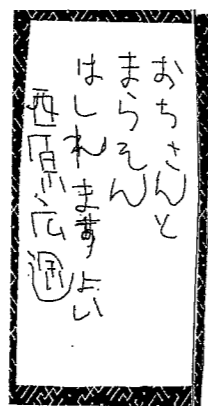
竹: 越智さんが(走るの)好きなの?

西: 越智さんが好きなんです。

竹: 西原さんは?

西: 越智さんとマラソン好きね。

竹: どこを走りたいんです?



西: 越智さんとJRとマラソン好き。

竹: 好きなものが越智さんと、JR、マラソンなんですね。

ダンスは最近しますか?

西: ジェンガが好き。(ジェンガ→ジェンカというフォークダンス)

竹: 誰と踊るんですか?

西: 佐々木さんとろん、ジェンガが好きです。

竹: 佐々木さんと2人?

西: 新川さんとろん。

竹: 佐々木さんと新川さんと西原さん。ジェンガってどんな踊りですか?

西: iPadが好きです。iPadが好きで、ジェンガを見る。

～後日談～

竹: 越智さんマラソン好きなんですか?

越智: 全然好きじゃない。夢の中で走ったことになどとるのかと。

〇ひとは作業所 川口智大さん

竹: 仕事は何をしていますか?

川口(以下、川): つうしん準備を。三つ折りしています。

竹: 毎月給料もらったり、夏のボーナスもらったりしたと思うんです

けど、何に使いますか?

川: 給料とかね、お金もううことありましたけど、ちやっというすね。

竹: 何か買いました?

川: お母さんに預けますよ。

竹: さっき声かけに行つたとき、何を書いてたんですか?

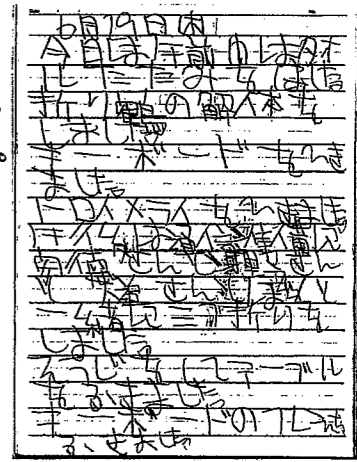
川: 日記をちやっ書いてるんです。

竹: 川口さんは挨拶が上手な方だと思つてました。

川: 上手でした。

作業所の活動: 32名のきららが

5つのグループに分かれ、メンテナンスや余暇活動などしています。



平成29年度発行 ひびきあう改訂版

松本 拓也

「うれしかったこと」
ひとはに入り、一年目から中田沙登志さんとは音楽の趣味から、一緒に歌を歌い、共に行動しながら声の掛け合いなどを楽しんでいた。

沙登志さんが「トイレ」と言ったので、一緒についていく。いつもなら、そこまで小走りをして一人で行ってしまう。そんな時は、口元をニヤリとし「ごめ〜ん」と。沙登志さん得意のイタズラだ。ただ、この時は一緒に歩いてトイレへ。用を足すとき、便器から離れないよう背中を押さえる。この間も声の掛け合いをしながら楽しんでいる。用を足し終わると、「俺もトイレしていい?」と言って、入れ替わった。この時、沙登志さんは居室へ戻ると思っていた。しかし、沙登志さんは戻らずに松本の背中を押した。

それが初めてのことで、びっくりして「どうしたん?」と聞く。「押してあげよるんよ」と答える。ただそれだけ。理由はわからないがうれしく思えた。

編集後記

先日、数年ぶりに旅行をした。もともと知らない場所を地図を頼りに歩き回ることが好きで、今回も探索を楽しみにしていたのだが、いざ出かけてみるとなんと地図が読めなくなっている。というが、目的地にたどり着くのに以前よりも時間と労力がかかる。ここ3年間、知っている場所にしただけ出かけていたのが、新しい場所を探索するアンテナが鈍っている。もっといろんな場所に出かけて磨き直したい。今できることは今のうちに。飛行機に乗って一人旅もいいな。

(白井 くみこ)

どうかなん